



コマツナの主な病害虫防除対策について

コマツナは作型や圃場条件などによって、病害虫の発生や被害が大きく異なります。コマツナは登録農薬が少ないため、薬剤防除のみに頼らない**総合防除**を実施しましょう。

主な病害虫



<病害>

- ① 白さび病、べと病(晩秋の低温多湿の時に発生)
- ② 炭疽病、黒斑細菌病、白斑病(秋の長雨期に発生)
- ③ 土壌病害:立枯病(リゾクトニア病)、萎黄病

<害虫>

- ① キスジノミハムシ、アザミウマ類(夏季を中心に長期に被害が発生)
- ② アブラムシ類、ハモグリバエ類
- ③ チョウ目害虫:アオムシ、コナガ、ヨトウムシ類、ハイマダラメイガ

防除対策のポイント

- ① 多湿条件にならないよう圃場排水の改善や高畦栽培を行い、過度の灌水を避けます。ハウスやトンネル内を換気等により適度な湿度に保ちましょう。
- ② 連作圃場や土壌病害が発生したハウスでは、除塩を兼ねて夏季の還元型太陽熱土壌消毒などを実施しましょう。
- ③ モザイク病を媒介するアブラムシやその他害虫対策として、ハウスやトンネルの開口部に防虫ネットを展張し侵入を防ぎましょう。
- ④ 害虫の飛来源、ウイルスの保毒源となる圃場内外の除草を徹底するなど、圃場衛生に努めましょう。
- ⑤ 播種前や播種時に粒剤等を適切に処理し、被害が発生したら発生株の早期除去や薬剤防除を実施しましょう。

表 1 コマツナ各種病害に対する主な防除薬剤

(令和 6 年 8 月 21 日現在)

対 象 病 害					薬 剤 名	使用量または希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
立枯病 (リゾクトニア病)	白さび病	白斑病	炭疽病	べと病、軟腐病、 黒斑細菌病				
●					フロンサイド粉剤	30kg/10a 全面土壌混和	播種前/1回	29
	●				ユニフォーム粒剤	9kg/10a 全面土壌混和	播種前/1回	4 と 11
				●	Zボルドー	500 倍 (軟腐病 500~1,000 倍)	- / -	M01
			●		スクレアフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで/3回以内	11
	●				ランマンフロアブル	2,000 倍	収穫 3 日前まで/3回以内	21
	●	●			アミスター-20 フロアブル	2,000 倍	収穫 7 日前まで/2回以内	11

注) 分類欄には、FRAC コードを記載しました (コードが 2 つは混合剤)。同一分類 (コード) は作用点が同じなので、連用は避けてください。

表 2 コマツナ各種害虫に対する主な防除薬剤

(令和 6 年 8 月 21 日現在)

対 象 害 虫						薬 剤 名	使用量または希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
アブラムシ類	アオムシ	コナガ	ハモグリバエ類	アザミウマ類	キスジノミハムシ				
					●	フォース粒剤	4kg/10a 全面土壌混和	播種前/1回	3A
●						ダントツ粒剤	6kg/10a 播種処理土壌混和	播種時/1回	4A
●						ジェイエース粒剤	3~6kg/10a 作業散布後土壌混和	播種前/1回	1B
		●			●	アクセルフロアブル	1,000 倍	収穫前日まで/3回以内	22B
		●	●		●	アニキ乳剤	1,000~2,000 倍	収穫前日まで/3回以内	6
●						ウララDF	4,000 倍	収穫前日まで/2回以内	29
	●	●				エコマスターBT	1,000~2,000 倍	発生初期(収穫前日)まで/ー	11A
	●	●		●		ディアナSC	2,500~5,000 倍	収穫前日まで/2回以内	5
		●				プレオフロアブル	1,000 倍	収穫前日まで/2回以内	UN
	●	●			●	プロフレアSC	2,000~4,000 倍	収穫前日まで/3回以内	30
	●	●				コテツフロアブル	2,000 倍	収穫 3 日前まで/1回	13
	●	●	●マメハモグリバエ			カスケード乳剤	2,000 倍	収穫 7 日前まで/2回以内	15
●					●	モスピラン顆粒水溶剤	4,000 倍	収穫 7 日前まで/1回	4A

注) 分類欄には、IRAC コードを記載しました。同一分類 (コード) は作用点が同じなので、連用は避けてください。

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 News は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。